

粉じん発生施設（コークス炉）の構造並びに使用及び管理の方法

工場における施設番号					
名称・型式					
使用開始（予定）年月日					
規模	原料の処理能力（t / 日）				
	炉室数				
	炭化時間（h）				
装炭作業	粉じんの処理装置の種類・型式				
	集じん装置の効率（%）				
	送風機の原動機出力（kW）				
窯出し作業	粉じんの処理装置の種類・型式				
	集じん装置の効率（%）				
	送風機の原動機出力（kW）				
消化作業	粉じんの処理装置の種類・型式				
参考事項					

- 備考 1 「参考事項」欄には、ガイド車の走行する炉床の強度、ガイド車の軌条の幅員等について記入すること。
- 2 粉じん発生施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその寸法を記入した概要図を添付すること。

粉じん発生施設（^{たい}堆積場、コンベア、破砕機、磨砕機、ふるい、バッチャープラント、製綿機）の構造並びに使用及び管理の方法

工場における施設番号						
名称・型式・基数						
使用開始（予定）年月日						
規模	面積（ m^2 ）・ ^{たい} 堆積能力（t）					
	ベルト幅（cm）又はバケット内容積（ m^3 ）・運搬能力（t/h）					
	原動機の定格出力（kW） 処理能力（t/h）					
使用及び管理の方法	集じん装置	集じん装置の種類・型式				
		集じん装置の効率（%）				
		送風機の原動機出力(kW)				
	散水	装置の種類・型式				
		装置の能力（ m^3/h ）				
		散水の方法又は運搬量若しくは処理量当たりの散水量（ l/t ）				
	薬液の散布	薬液の種類・名称				
		装置の種類・型式・基数				
		装置の能力（ m^3/h ）				
		散布の方法				
	防じんカバーの設置状況					
	その他	方 法				
	参 考 事 項					

- 備考 1 「規模」の欄には、^{たい}堆積場については面積及び^{たい}堆積能力を、コンベアについてはベルト幅又はバケット内容積及び運搬能力を、破砕機、磨砕機、ふるい、バッチャープラント及び製綿機については原動機の定格出力及び処理能力を、記入すること。
- 2 「散水の方法又は運搬量若しくは処理量当たりの散水量」欄には、^{たい}堆積場については散水の方法（水量、実施頻度等）を、コンベアについては運搬量当たりの散水量を、その他のものについては処理量当たりの散水量を記入すること。
- 3 「薬液の散布」欄は、^{たい}堆積場についてのみ記入すること。
- 4 「その他」欄には、^{たい}堆積場については締固めの装置・型式及び方法並びに散水等と同等以上の効果を有する措置、その他のものによっては散水等と同等以上の効果を有する措置について記入すること。
- 5 粉じん発生施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

汚水の発生施設の構造等

工場における施設番号										
種類・名称・型式										
使用開始(予定)年月日										
構造										
主要寸法(m)										
使用状況	1日の使用時間・ 1月の使用日数	時~時 日/月	時~時 日/月	時~時 日/月	時~時 日/月	時~時 日/月	時~時 日/月	時~時 日/月	時~時 日/月	
	季節変動									
原材料	種類									
	使用量(1日あたり)									
	使用方法									
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
排水量(m ³ /日)										
汚水の水質	水素イオン濃度 (pH)									
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)									
	化学的酸素要求量 (mg/l)									
	浮遊物質 (mg/l)									
	外観									
	臭気									
	温度()									
	その他の項目	()								
		()								
		()								
()										
製品又は中間製品の取り出しに際しての廃液分離方法										

- 備考 1 「汚水の発生施設」とは、冷凍用冷却装置、ばい煙の洗浄装置、水質汚濁防止法施行令別表第1に掲げる施設等をいう。
- 2 「汚水の水質」欄のうちの「その他の項目」の欄には、条例別表第7 4の部(1)の表の(1)から(26)までに掲げる各項目、同別表 4の部(2)アの表の(8)から(15)まで及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、汚水の発生施設から排出されるものをすべて記入すること。また、()には、単位を記入すること。

汚 水 の 処 理 の 方 法

処理施設の工場における施設番号													
処理する発生施設の工場における施設番号													
種類・名称・型式													
使用開始(予定)年月日													
構造													
主要寸法(m)													
能力(m ³ /日)													
処理の方式													
消耗資材	資材名												
	用途												
	1日の使用量												
使用状況	1日の使用時間・1月の使用日数	時~時 日/月	時~時 日/月	時~時 日/月									
	季節変動												
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後						
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大				
処理に係る汚水量・水質	汚水量(m ³ /日)												
	水素イオン濃度(pH)												
	生物化学的酸素要求量(mg/l)												
	化学的酸素要求量(mg/l)												
	浮遊物質(mg/l)												
	外観												
	臭気												
	温度()												
	その他の項目	()											
		()											
()													
()													
各排水口の汚水量・水質	排水管		汚水量(m ³ /日)	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量(mg/l)	化学的酸素要求量(mg/l)	浮遊物質(mg/l)	外観	臭気	温度()	その他の項目		
											()	()	()
		通常	最大										
		通常	最大										
		通常	最大										
	通常	最大											
残さ	種類												
	生成量(kg/日)												
	処理方法の概要												

備考 1 「処理施設」とは、工場に設置されている施設であって、発生施設等から排出される汚水を処理するためのものをいう。
 2 「処理に係る汚水量・水質」欄及び「各排水口の汚水量・水質」欄中の「その他の項目」の欄には、条例別表第7 4の部(1)の表の(1)から(26)までに掲げる各項目、同別表 4の部(2)アの表の(8)から(15)まで及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、汚水の処理施設又は工場から排出されるものをすべて記入すること。また、()には、単位を記入すること。
 3 「各排水口の汚水量・水質」欄には、工場の各排水口から排出される総汚水量及びその水質を記入すること。

地下水揚水施設の構造等

揚水施設	名称又は番号	
	設置・変更予定年月日	年 月 日
	さく井年月日	年 月 日
	深度(地表面下m)・側管口径(mm)	深度 m、側管口径 mm
	ストレーナーの位置(地表面下m)	m~ m、 m~ m m~ m、 m~ m
揚水機	種類・名称・型式	
	原動機の出力・揚水能力	kw ℓ/分
	吐出口断面積	cm ²
水量測定器	種類・名称・型式	
	検定年月日	
地下水水位	計測方法	
	静止水位、揚水水位(地表面下m)	m m
地下水揚水量		m ³ (1日平均)
地下水の用途		
施設数、吐出口断面積の合計、地下水揚水量の合計		
変更前	施設数、吐出口断面積の合計	本 cm ²
	地下水揚水量の合計	m ³ (1日平均)
変更後	施設数、吐出口断面積の合計	本 cm ²
	地下水揚水量の合計	m ³ (1日平均)
揚水施設担当者所属、氏名、電話番号		

- 備考 1 必要に応じ図面を添付のこと。
- 2 複数の揚水施設の設置(変更)の場合は、地下水揚水施設の構造等について、揚水施設別に作成のこと。ただし、「施設数、吐出口断面積の合計、地下水揚水量の合計」の欄については、1枚目に記入し、2枚目以降には記入しないこと。
- 3 完成後、揚水試験を実施したときは、その報告書の写しを提出すること。